

平成 23・24 年度

## JSEKM 第 2 回幹事会議事録

と き：2012 年 3 月 17 日（土） 11:00～13:00

ところ：昭和音楽大学北校舎 3F 会議室

出席者：柳田 吉田 下八川 阿方 小倉

### 1. 第 8 回大会と組織

開催校は文教大学とし、大学の日程調整は済んでいる。

実行委員について一部打診中を含め下記の通り決定した。

- ・ 日程 2012 年 11 月 11 日(日)
- ・ 会場 文教大学
- ・ 実行委員 小倉隆一郎（委員長）／文教大学、田中 純／文教大学、  
荒井直孝／文教大学、田中功一／国際学院埼玉短期大学、森下絹代／昭和音楽大学、  
森松慶子／音楽ライター、赤塚博美／洗足学園大学、富田英也／白鷗大学、  
阿方 俊／事務局、生頼俊秀／事務局補佐

### 2. 大会内容

#### ①基調講演者について

梯 郁太郎氏(ローランド)82 才 に講演依頼する。テーマ(案)「企業の立場として電子楽器の未来について」

アシスタントを三木純一会員（ローランド楽器開発責任者）に依頼する。

#### ②パネルディスカッション or 事例発表

学会運営の中核として、研究部会長を確認する。電子オルガン部会は森下先生に依頼し、研究部会を立ち上げる。 ML 部会は過去 2 年間、研究部会としてワークショップ等の活動をしてきた。部会長は小倉(留任)とする。部会長は事務局と連絡して大会の研究発表、パネルディスカッションの企画・呼びかけを行う。

昭和音大では、現在 ML テキストの制作を進めている。この内容を ML 事例発表としてはどうか、との意見が出た。

電子オルガンの事例発表 or パネルディスカッションについて 電子オルガン研究部会長/森下先生の意見を伺う。

音楽専攻生および幼保のための ML 事例発表があるとバランスが良い。

研究発表の呼びかけを次回ニュースレターで行う。

#### ③研究発表

3/17 現在、研究発表予定者は以下の通りである。

三木純一(ローランド楽器開発責任者)、古田政伸(横浜アオバ楽器)、金銅英二(松本歯科大学)、森松慶子(フリーライター)、中国 ML 関係者(APEKA)

#### ④研究コンサートについて

文教大学を会場校とした第 5 回大会と同様の内容により、無理なく実施できる範囲で検討する。

吹奏楽と電子キーボードを中心とした演奏を考える。

### 3. 選挙と今後の体制

選挙と今後の体制について今後の検討課題として話し合われた。

- ・ 会則の見直し  
幹事会への出席の問題、選挙で選ばれた幹事であり、幹事会への出席義務がある。  
議事録に出席・欠席者名を明記することはどうか。
- ・ 若返り  
幹事が選任する人数を増やす案があった。「選挙：幹事が選任」の割合を、  
現在 8：2 であるが、これを 6：4 にする。若い幹事を選任することにより学会の  
若返りをめざす。  
選挙時期は、大会一週間前に開票する日程で企画する。告知・投票の準備を行う。  
郵送費が発生する。

#### 4. 会員動向と会員募集

- ・ 賛助会員の増減  
賛助会員 ローランド芸術文化振興財団 会費（口数）減額要請  
羽賀芳秋(INA International) 新入会
- ・ 会員募集の目的で、夏期休暇に講習会などを企画してはどうか、との意見があった。

#### 5. 学会誌応募状況

- ・ 論文 ジーリ・ホルベック(チェコ)、宮本賢二郎、金銅英二、森松慶子
- ・ 活動報告 ルー・ミン(ベトナム) 阿方(海外事情)ほか
- ・ 学会誌の投稿を呼びかけるシステムを考える必要があるのではないか。
- ・ 学会誌を担当する幹事をおく。(これまでは阿方幹事一人に頼っていた)

#### 6. その他

- ・ 中国人 ML 関係者の大会参加（10 名前後を予定）
- ・ APEKA 情報
- ・ ホームページの改定に関するアンケート  
ホームページ、その他に関するアンケート調査を実施する。幹事選挙の時期に出来る  
よう準備をする。
- ・ 第 3 回幹事会日程  
5 月 26 日(土)14:00 昭和音楽大学北校舎 3 F 会議室

(議事録作成:小倉)

以上